

第8回岡山県新型コロナウイルス ワクチン接種体制確保協議会

令和4年9月20日

岡山県新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保協議会

オミクロン株対応ワクチンの接種体制について

オミクロン株対応ワクチン接種に関する国の方針①

<位置づけ>

オミクロン株対応ワクチンの接種を予防接種法に基づく特例臨時接種として位置づける。

<ワクチンの種類>

- ・オミクロン株（BA.1）と従来株に対応した2価ワクチン
- ・ファイザー社とモデルナ社のワクチンを使用

<対象者>

初回接種を完了した12歳以上の全ての者

<接種間隔>

前回の接種から5か月以上

※国において、今後、海外の動向等を踏まえ、接種間隔を短縮する方向で検討し、10月下旬までに結論を得ることとされている。

<接種する回数>

オミクロン株対応ワクチンは、現時点では1人1回の接種とされている。

オミクロン株対応ワクチン接種に関する国の方針②

＜交互相種＞

前回の接種までに用いたワクチンの種類に関わらず、ファイザー社又はモデルナ社のオミクロン株対応ワクチンによる接種を行うことができる。

＜接種開始時期＞

①～③の方向性に沿って接種を進める。

① 9月半ば過ぎ：現行の4回目接種の対象者であって4回目未接種の者

② 4回目接種の一定の完了が見込まれた自治体：配送ワクチンの範囲内で社会機能を維持するために必要な事業の従事者や年代別など、その他の初回接種が完了した者の接種へ移行

③ 10月半ばを目途：①・②以外の初回接種を完了した12歳以上の全ての者



※移行の時期は、地域の実情に応じて、自治体において柔軟に対応する。

＜特例臨時接種の期間＞

令和5年3月31日まで延長

(参考) オミクロン株対応ワクチン

＜オミクロン株 (BA.1) 対応 2 価ワクチンの特性＞

ワクチン種類	ファイザー	モデルナ
キャップの色	グレー 	ブルー 
対象年齢	12 歳以上	18 歳以上
接種間隔	5 か月以上	5 か月以上
希釈	希釈不要	希釈不要
接種量	0.3 ml	0.5 ml
1 箱当たり	195 バイアル	10 バイアル
1 バイアル当たり	6 回分	5 回分
保管温度	-75°C ± 15°C : 12 か月 2 ~ 8°C : 10 週	-20°C ± 5°C : 9 か月 2 ~ 8°C : 30 日

※ どちらのワクチンも初回 (1・2 回目) 接種には使用できない。

オミクロン株対応ワクチンの配分量

＜岡山県へのワクチン配分量＞ 9月16日時点で国から示されているもの

クール名	配送時期	ファイザー	モデルナ	計
第1クール	9/19～25	147,420回	14,550回	161,970回
第2クール	9/26～10/2	147,420回	14,500回	161,920回
第3クール	10/3～9	112,320回	14,550回	126,870回
第4クール	10/10～16		29,000回	29,000回
計		407,160回 (84.9%)	72,600回 (15.1%)	479,760回

※モデルナについては、追加配送がある予定

<岡山県の方針> 接種開始時期・予約開始時期

- 岡山県内の市町村は、令和4年9月28日(水)以降にオミクロン株対応ワクチンの接種を開始する。
- 接種開始に先立ち、令和4年9月22日(木)午前8時30分から岡山県共通予約システムによる予約の受付を開始する。

○ 9月28日(水)以降、接種体制の整った施設から順次、接種を開始する。

<岡山県の方針> 接種対象者

- 接種開始時から、初回（1・2回目）接種を完了した12歳以上全員を対象とする。
（ただし、前回の接種から5か月以上の接種間隔は必要）

<理由>

- 従来ワクチンの接種者とオミクロン株対応ワクチンの接種者が混在することによる、接種施設での混乱や間違い接種を防ぐことができる。
- 「いつから」、「どういった人が対象なのか」を明確にし、県内で統一することで、住民や医療機関にとって分かりやすくなる。
- 当初から十分な量のワクチンが配送される。
- 12歳以上全員を対象としても、4回目未接種の高齢者等が接種機会を確保できるだけの接種体制を当初から確保できている。

(参考) 接種対象者数

- これまでに初回接種を完了した12歳以上の岡山県民は約149万人
そのうち、前回の接種から5か月以上経過しているのは、約75万人
→接種当初における接種対象者は、約75万人
- 従来ワクチンの4回目接種の開始日が令和4年5月25日であるため、5か月後の10月25日から、5回目の接種となる者が加わってくる
こととなる。
→ただし、国において、海外の動向等を踏まえ、接種間隔を短縮する方向で検討し、10月下旬までに結論を得ることとされているため、国の検討状況を注視する。

<岡山県の方針> 接種券の発送

- **接種対象者であっても、接種するためには接種券が必要となるが、既に送付されている3回目・4回目用の接種券が使用可能である。**
 - **市町村は接種対象者のうち、これまで接種券を送付していない者へ、順次接種券を送付する。**
- 岡山県では、4回目用接種券について、一部の市町村を除いて3回目接種後5か月を経過する18歳以上全員に接種券を送付することとしているが、18歳以上全員へ送付していない市町村は、対象者のうち4回目用接種券の未送付者へ順次接種券を送付する。
- また、今回新たに4回目接種の対象となる12～17歳の4回目用接種券については、各市町村の準備ができ次第、順次送付する。
- 既に送付している接種券を紛失している者へ、申請をすれば接種券の再発行ができることを周知する。

<岡山県の方針>オミクロン株対応ワクチンの接種体制

- 県民は、県内どこの接種施設でも、申請不要で接種できる全県での共同体制を継続する。
- 各市町村において、これまでと同様に個別接種や集団接種の体制を構築する。
- 県営接種会場においても、オミクロン株対応ワクチンの接種を実施する。

○接種施設が行う接種費用の請求についても、引き続き、被接種者の居住地にかかわらず、全て岡山県国民健康保険団体連合会（国保連）へ請求する。

○従前の接種後の副反応などへの相談体制も継続して確保する。

＜岡山県の方針＞初回接種の継続

- 初回（１・２回目）接種を完了していない者は、オミクロン株対応ワクチンを接種できないため、オミクロン株対応ワクチン接種開始以降も、初回（１・２回目）接種の機会を継続して提供する。
 - 県営接種会場においても、初回（１・２回目）接種を継続して実施する。
- 引き続き、初回（１・２回目）接種の未接種者に対して、接種しやすい環境を整えるとともに、接種の重要性を訴えることにより、接種促進に努める。

県営接種会場の接種体制

■ 県営接種会場でオミクロン株対応ワクチンの接種を実施する。

○オミクロン株対応ワクチンの接種開始に伴い、岡山県医師会及び川崎医科大学総合医療センターの協力を得て、接種体制を拡充

岡山県医師会館会場（ファイザーBA.1）

接種日程	接種人数
◆ 9月28日(水)～10月2日(日) 各日19:00～21:00 ◆ 以降毎週金・土曜日に実施	各日300人程度

開始当初の5日間実施

接種人数の大幅増！

川崎医科大学総合医療センター会場（モデルナBA.1）

接種日程	接種人数
◆ 9月30日(金)～毎週金・土曜日に実施 金曜日 14:30～18:30 土曜日 14:30～17:00 ただし、10月1日(土)は15:30～18:00 ◆ 10月9日(日)以降は、毎週日曜日にも実施 日曜日 14:30～17:00	金曜日160人程度 土曜日100人程度 日曜日100人程度

日曜日を拡充

(参考) 岡山県のワクチン接種状況

< 1～3回目接種状況 >

(令和4年9月18日時点)

区分	人口	1回目接種回数 (接種率)	2回目接種回数 (接種率)	3回目接種回数 (接種率)
12～64歳	1,125,273	939,646 (83.5%)	933,991 (83.0%)	695,988 (61.9%)
65歳以上	570,197	536,802 (94.1%)	535,329 (93.9%)	516,259 (90.5%)
合計 (全年齢)	1,879,187	1,497,576 (79.7%)	1,488,943 (79.2%)	1,212,393 (64.5%)

< 3回目接種 年代別接種率 >

12～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
39.2%	52.2%	54.0%	62.0%	75.8%	85.2%	90.8%	92.5%

< 4回目接種状況 >

区分	人口	4回目接種回数	接種率
60歳以上	678,760	426,374	62.8%

18～59歳の①基礎疾患を有する者等、②医療従事者等、③高齢者施設等の従事者の接種回数は、71,945回

(※1) 人口は【統計】令和4年住民基本台帳年齢階級別人口(市町村別)令和4年1月1日時点による。

(※2) 1～3回目接種状況の「合計(全年齢)」欄には、小児(5～11歳)の接種を含む。

(※3) 12～64歳の人口は推計値であり、年齢不明の者の接種回数を含む。